

第13分科会: 高次脳機能障害Ⅱ

<p>1 就労の土台となる社会生活面の重要性 ～高次脳機能障害者の就労・生活状況調査に基づく要因分析～</p> <p>当センターでは、高次脳機能障害者の支援拠点機関として、「社会生活評価プログラム」において作業能力面や生活管理面等の評価を実施している。平成29年度、プログラム利用終了者を対象として現在の就労・生活状況等の調査を行った。その結果をもとに、現在の就労状況とプログラム利用時の情報を合わせて分析したところ、社会生活面の自立度と就労との関連が示唆されたため、報告する。</p>	<p>結城 百枝 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課 作業療法士</p>
<p>2 「高次脳機能障害者のための就労準備支援プログラム」利用後の 就労状況 ～終了者調査及び神経心理学的検査結果等の分析～</p> <p>当センターでは、高次脳機能障害者の支援拠点機関として、「就労準備支援プログラム」において作業系課題や神経心理学的検査等をおとした職業評価を実施している。平成29年度、プログラム利用終了者を対象として現在の就労・生活状況の調査を行った。その調査結果やプログラム利用中の神経心理学的検査結果等の分析をおして、高次脳機能障害者の就労状況と関連する要因や就労支援の役割・意義について検討した結果を報告する。</p>	<p>阿部 聡子 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課 心理</p>
<p>3 就労移行支援事業所における高次脳機能障害者の復職支援と 就職・定着支援 ～支援体制の構築と制度の活用、関係機関との連携～</p> <p>受傷後、リハビリから福祉サービスの利用、それまでの関係機関との調整から復職支援。就職支援に切り替えての支援と就職後の定着支援までのプロセスを関係機関の役割と情報の共有。将来の展望を見据えた現在の支援体制と方向性決定。これまでの流れを、その時の課題、希望を家族支援を含めて広い目線で捉えた就労移行支援の立場から発表します。現在の定着支援中での課題や支援の見直し等進行中の支援についてもお伝えします。</p>	<p>藤井 貴之 株式会社レボ 就労移行支援事業所ふらっぶ 管理者 サービス管理責任者</p>
<p>4 高次脳機能障害者を主な利用者とする就労移行支援事業所と 地域障害者職業センターの連携に関する一考察</p> <p>平成27年度～平成29年度において、高次脳機能障害者を主な利用者とする就労移行支援事業所から当センターへ依頼のあったケースを抽出し、就労移行支援事業所及び当センターが行った支援や連携内容を分析。高次脳機能障害者を主な利用者とする就労移行支援事業所と地域障害者職業センターの連携の効果等について考察を行う。</p>	<p>村久木 洋一 大分障害者職業センター 障害者職業カウンセラー</p>
<p>5 オーストラリアにおける感情コントロールに課題を抱える 高次脳機能障害者への支援</p> <p>「平成29年度障害者職業カウンセラー等海外研修」において、オーストラリア連邦にある2つの施設を訪問し、高次脳機能障害者の感情コントロールの支援に関して、①応用行動分析に基づくアプローチ、②認知行動療法、③補完手段習得、④職業カウンセリングの実際について情報収集を行った。本発表では②を中心に概要を報告する。</p>	<p>浅井 孝一郎 障害者職業総合センター職業センター開発課 障害者職業カウンセラー</p>